

「日習則学不忘」 ～心に留め、行動に移してほしい言葉～

今月中旬に先代の校長先生が来校され、この言葉について話してくださいました。六中生は既に校内各所で目にしていることと思います。本校に勤務する教職員のネームカードにも記載していて、六中に関わる全ての人たちにおいてとても大切な言葉です。歴代の校長先生が、その代ごとに生徒の皆さんに伝えてきたものです。この言葉の意味や由来について紹介します。



「日習則学不忘」(ひに ならえば すなわち がく わすれず)。この言葉は、校舎改築前の体育館に大きな額で飾られていたもので、現在は格技室にあります。この額は、創立40周年記念に際して、当時の高山昌之校長先生の友人である野村無外氏から寄贈されたもので、言葉は論語で有名な孔子(こうし)の3,000人の中でも最も優れた10人「孔門十哲」の一人である子夏(しか)の作によるものだそうです。

校舎改築の際に、この言葉を生徒の皆さんが日々目にすることができるようにとの願いから、校庭から正門に向かう校舎のアーチ上に刻まれたそうです。生徒の皆さん一人一人が、この言葉を胸に刻み、その積み重ねを将来に役立てていけるように日々の学習に勤しむことを願っています。



この言葉は、毎日学習することの大切さを述べています。そしてこの言葉は、「自勉則身不墮(みづから つとむれば すなわち み おちず)」と続きます。すなわち、「毎日学習を続ければ学問を忘れることはなく、積極的に勉学すれば身は墮落しない。」という意味です。毎日学習すれば身を慎み、人間的な成長を続け、完成することができし、自分から進んで勉学することによって一日一日を意義あるものにすれば、不真面目な生活におちいることはない、という意味です。

(平成25年10月及び令和元年10月「六中だより」より引用)

オープンキャンパス開催中

9～11月の土曜授業公開に合わせて、文京区立中学校の魅力を伝えるために「オープンキャンパス」(小学生及び小学生保護者対象の授業公開や学校説明会)を実施してきました。今月15日(土)の学校説明会には約150名の参加があり、本校を含む区立学校の様子をお知りになりたい方々が多くいらっしやるのが分かりました。次回が今年度のオープンキャンパス最終回となります。近隣やお知り合いに学校選択を検討されている方がいらしたら、ご紹介いただけますと幸いです。



なお、今年度は授業公開以外に、部活動体験も実施します。今月後半から11月中旬までの期間を中心に、部活動ごとの日程で体験や見学ができます。本校ホームページに詳細と申込方法を掲載しています。多くの児童のご来校をお待ちしています。



11/12(土)オープンキャンパス(最終回) ※当日は「道徳授業地区公開講座」も実施しています。
8:45～11:35(授業公開) 8:45～10:00(個別相談)

11月の予定

1日(火)三者面談(3年:～8日(火))	16日(水)期末考査(～18日(金))
3日(木)文化の日	21日(月)生徒朝礼 領域診断テスト(3年)
7日(月)全校朝礼 安全指導	24日(木)生徒委員会
9日(水)期末考査一週間前	25日(金)校外学習(1年;TenQ)
11日(金)子どもを笑顔にするプロジェクト(2年) 数検(申込者)	プレゼンテーション能力向上プログラム(2年) 中央委員会
12日(土)土曜授業公開 オープンキャンパス 道徳授業地区公開講座	28日(月)避難訓練